

「木と住の情報館」を通じた 木材市場と消費者との連携

原木市場と製品市場 による情報発信基地

千葉県木材市場協同組合

代表者：理事長 吉岡 實

事業体の構成等：協同組合（組合員は木材小売店、県森連、素材生産業者）

〒283-0823

千葉県東金市山田 800

TEL：0475-55-6161

FAX：0475-55-6171

URL：http://www3.ocn.ne.jp/~chimoku/



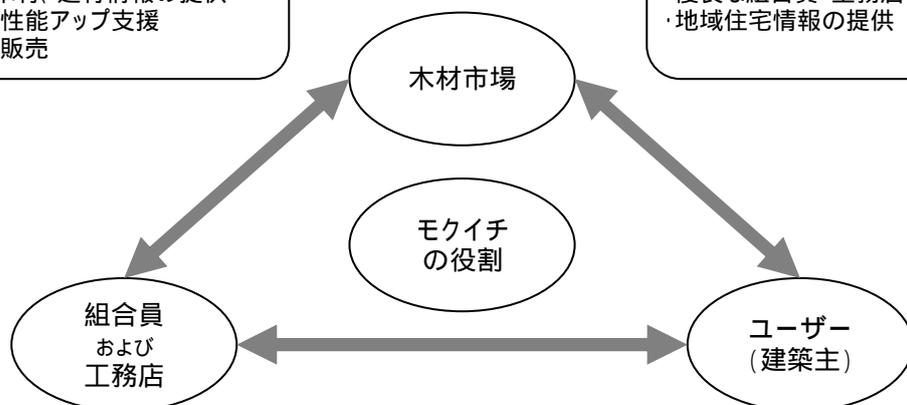
木と住の情報館



事業の仕組み

組合員・工務店へ
・ユーザー対応支援
・設計(CAD)、見積支援
・住宅、木材、建材情報の提供
・住宅の性能アップ支援
・木材の販売

ユーザーへ
・木と木造住宅の情報提供
・住まいづくり支援
・優良な組合員・工務店の紹介
・地域住宅情報の提供



事業の目的、内容等

原木・製品市場の経営と併せて広く一般消費者に木を理解してもらうための「木と住の情報館」が設けられている。

協同組合組合員、工務店へは、消費者対応支援、設計（CAD）見積り支援等を実施し、消費者へは、木と木造住宅の情報提供、住まいづくり支援等を実施している。

このように「木と住の情報館」の活動を通じて建築業を兼ねている製品市場の買方の営業支援になっている。

事業の実績、成果

平成 15 年度、県外者も含めて千名以上の利用者があった。

平成 16 年度は、2000 名（見込み）CAD 利用回数も 100 回（見込み）となった。

今後の取組み

木材の情報発信基地としての機能を高めるため、取組み内容の高度化を図る。

現地調査結果の概要

調査担当

鈴木武

（（財）林政総合調査研究所 客員研究員）

坂本保

（（財）日本木材総合情報センター 国内情報部長）

1. 事業の概要

木材の利用により地域材の循環システムを構築して林業の経営基盤を維持していくためには、広く一般消費者にも木を理解してもら

うことが必要と考え、当市場では 8 年前から“千葉木材市場夏のフェスティバル”を開催してきた。

フェスティバルでは、オデンなどのサービス、抽選会、端材の無料配布、木工教室などを行い、800 人くらいが参加する。

こうした消費者との連携の中で、より林業・木材・木造住宅について理解を深めて貰うことを目的に平成 14 年度に「木と住の情報館」を建設した。

館内には組合員、工務店向けの消費者対応支援のため設計・見積り支援CADを備えた打合せ室があり、消費者向けには、木構造の仕組みや金物を見せた模型をはじめ品質確保法の各項目についての解説、住宅部品展示、木の構造、特性、効用などの解説展示、

森林・木材利用と環境、千葉県の林業・木材、和室モデルなど、消費者の疑問に答える盛り沢山の展示が工夫されている。

「木と住の情報館」では、この展示のみでなく“お楽しみ木工教室”、お習字会などのイベントを行い来場者の増加に努めている。

当市場は組合員のみしか取引ができないため、「木と住の情報館」も 1 組合員として加盟している。「木と住の情報館」で相談した消費者は、市場の倉庫で実際に木材を見て使用したい木材があれば、「木と住の情報館」を通じて購入することができる。

平成 16 年 4 月から同 17 年 1 月までの 10 ヶ月の販売実績は、37 件、20,865 千円 234 m³（m³ 単価 89,200 円）となっており、単に消費者への情報提供に留まらず「木材を使いたい」という消費者の期待に答えを出している。

「木と住の情報館」は平成 15、16 年とまだ 2 年目の途中だが、木材市場と消費者を結びという目的を立派に果たしつつあり、全国の木材市場から注目を集めている。